

土木積算システムにおける管路施設更生工について

令和3年1月1日基準から土木積算システムにおける「適用工種」が「下水道工事(2)」の工事については、管路施設更生工の間接工事費の補正内容が設計書に表示されるようになりました。表示される内容は以下のようになります。

※ 令和3年4月1日基準から施工箇所が点在する工事で管路施設更生工を積算した場合についても対応しました。

(通常積算における補正内容表示例)

適用年版	令和3年1月1日基準
施工地域・工事場所区分	大都市(2)
適用工種	下水道工事(2) 管更生工補正: 40~50%未満
調整区分	単独工事
週休2日補正区分	補正なし

(施工箇所点在積算における補正内容表示例)

適用年版	令和3年4月1日基準
施工地域・工事場所区分	
適用工種	下水道工事(2) 管更生工補正: 40~50%未満
調整区分	施工箇所点在
週休2日補正区分	補正なし

表示内容一覧
管更生工補正: 補正なし
管更生工補正: 40~50%未満
管更生工補正: 50~60%未満
管更生工補正: 60~70%未満
管更生工補正: 70~80%未満
管更生工補正: 80%以上

施工箇所別 経費情報				
適用工種: 下水道工事(2)				
箇所	名称	親工事	施工地域区分	現場環境改善費 計上区分等 (0.00%)
01	工区1	○	大都市(2)	管更生工補正: 40~50%未満
02	工区2		大都市(2)	管更生工補正: 40~50%未満
03				
04				
05				
06				

また、補正に伴う計算方法、端数処理は、積算システムでは以下のとおりの考え方で積算されています。

(1) 共通仮設費率

補正時の共通仮設費率計算式

① 共通仮設費率（補正前）

現行積算基準に基づいて共通仮設費対象額によって算出された率

$$Kr = A \cdot P^b \text{（小数点第3位四捨五入2位止め）}$$

Kr ：共通仮設費率（%）（補正前）

P ：共通仮設費対象額 A, b ：下水道工事（2）の変数値

② 共通仮設費率（施工地域補正、更生工補正、公有地内現場事務所設置補正、加算率の補正後）

$$Kr' = (Kr \cdot Sr \cdot k1 + x) \times k2 \text{（小数点第3位四捨五入2位止め）}$$

Kr' ：共通仮設費率（施工地域等の補正後）（%）

Kr ：共通仮設費率（補正前）（%）

Sr ：施工地域補正係数

$k1$ ：更生工補正率（補正を行わない場合は、 $k1 = 1.00$ ）

$k2$ ：公有地内現場事務所設置補正率（補正を行わない場合は、 $k2 = 1.000$ ）

x ：加算率補正（%）（補正を行わない場合は、 $x = 0.00\%$ ）

③ 共通仮設費率（週休2日の補正をした場合）

$$Kr'' = Kr' \cdot Tr \text{（小数点第3位四捨五入2位止め）}$$

Kr'' ：共通仮設費率（週休2日の補正後）（%）

Kr' ：共通仮設費率（週休2日の補正前）（%）

Tr ：週休2日の補正係数（補正を行わない場合は、 $Tr = 1.0$ ）

(2) 現場管理費

補正時の現場管理費率計算式

① 現場管理費率（補正前）

現行積算基準に基づいて現場管理費対象額によって算出された率

$$Jo = A \cdot Np^b \text{（小数点第3位四捨五入2位止め）}$$

Jo ：現場管理費率（%）（補正前）

Np ：現場管理費対象額 A, b ：下水道工事（2）の変数値

② 現場管理費率（施工地域補正、更生工補正、加算率の補正後）

$$Jo' = Jo \cdot Sr \cdot k1 + y \text{（小数点第3位四捨五入2位止め）}$$

Jo' ：現場管理費率（施工地域等の補正後）（%）

Jo ：現場管理費率（補正前）（%）

Sr ：施工地域補正係数

$k1$ ：更生工補正率（補正を行わない場合は、 $k1 = 1.00$ ）

y ：加算率補正（%）（補正を行わない場合は、 $y = 0.00\%$ ）

③ 現場管理費率（週休2日の補正をした場合）

$$Jo'' = Jo' \cdot Tr \text{（小数点第3位四捨五入2位止め）}$$

Jo'' ：現場管理費率（週休2日の補正後）（%）

Jo' ：現場管理費率（補正前）（%）

Tr ：週休2日の補正係数（補正を行わない場合は、 $Tr = 1.0$ ）

※ 問合せ先

環境創造局技術監理課（TEL：045-671-3530）